

施工主様 施工技術者様へ 下記施工要領を御確認の上、施工お願い致します。

重要

開封放置禁止

ジョイント施工

① 必ず巾おとしする

② ホツレ止めをする

※商品確認等で、開封したときは広げたま放置しないで必ず包装して下さい。(ウールが生きている為、色差が発生します)



<写真1>

推奨施工方法 フェルトグリッパー工法

注意 グリッパーのピンが表に出ることがあります。施工後ピン先処理をして下さい。

グリッパーのピンの長さの選定(Aタイプ推奨)

注意事項
この商品は基本的に胴縫ぎジョイントはできません。
横スジが入り柄が合いません。

織物カーペットの基本的なジョイント方法
(シーミングテープジョイント前処理)

(A) 巾縫ぎジョイント



<写真2>

※ 重要項目なので必読の方、よろしくお願い致します

巾おとしする

↓

分解する

↓

シメ糸を残す

↓

ホツレ止をする

↓

仕上がりの色差の確認。

↓

色差があればリバー施工
※右記に参照

↓

問題なければジョイント作業

① デザインやテクスチャーをよく理解した後、ジョイント箇所の耳部分より5cm以上のカーペットの巾をカットする。(商品の安定部分を使用する為)

② ジョイントラインよりも2目余分に残すようにカットした後余分となった部分を分解する。ジョイントラインのシメ糸(白い糸)は分解しないで下さい。
<写真2参照>

③ 残ったヌキ糸(ヨコ糸 ジュート)をハサミでシメ糸を残した状態で綺麗にカットして下さい。
<写真2参照>

④ ジョイントするカーペットの耳の基布部分にラテックスの原液をパイル面にはみ出さないように気をつけて塗布する。

⑤ 半乾き状態でシーミングテープ等を使用しジョイント作業をする。

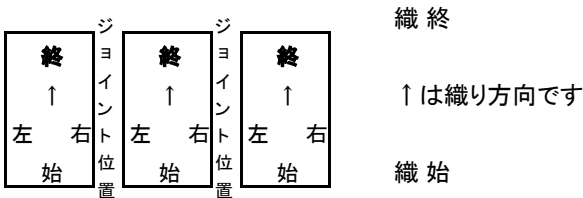
※ ジョイント完了後にはスリットしたカーペットの耳どうしがラテックスで接着されて強力なジョイントに仕上がります。

リバー施工

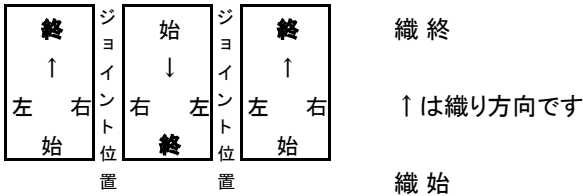
- ・ ジョイント施工の場合の時にジョイント部分の色差が出る場合があります。
- ・ 織りじゅうたんの場合、巾の左右のテンション差が確認されることがあります。
- ・ ジョイント施工時、シーミングテープのアイロンの前にジョイント部分の色差の確認お願い致します。

※ 施工時には 有効寸法ギリギリまで左右の巾を落としてください。
※もし色差の限度が許容範囲以上と思われた場合
同方向ジョイントからリバー施工に変更願います。

★ 通常の施工 (同方向ジョイント)
織り巾に対して 左端 右端 ジョイント 左端 右端 ジョイント 右端 左端



★ リバー施工(逆方向ジョイント)
織り巾に対して 左端 右端 ジョイント 右端 左端 ジョイント 左端 右端



※ リバー施工されるとジョイント部分が 右端右端 左端左端と端同士が同じ部分になりジョイント部分の色差が通常施工より目立たなくなりました。
お手数ですがよろしくお願いします。
尚、リバー施工はループ製品に限ります。カット製品の場合は絶対しないでください。